

# Alternative Library Manual

0.1

---

---

## 目次

1. サポートするランタイムライブラリ .....	1
2. プリプロセッサの定義.....	3
1. Static,DLL 共通.....	3
2. DLL .....	3
3. DirectX.....	4
3. サポート .....	4
4. ライブラリの使い方 .....	5
1. altBase .....	5
2. altMemManager .....	5

## 1. サポートするランタイムライブラリ

サポートするランタイムライブラリは「マルチスレッド デバック(/MTd)」または「マルチスレッド(/MT)」のみです。

図 1 マルチスレッド デバック(/MTd)

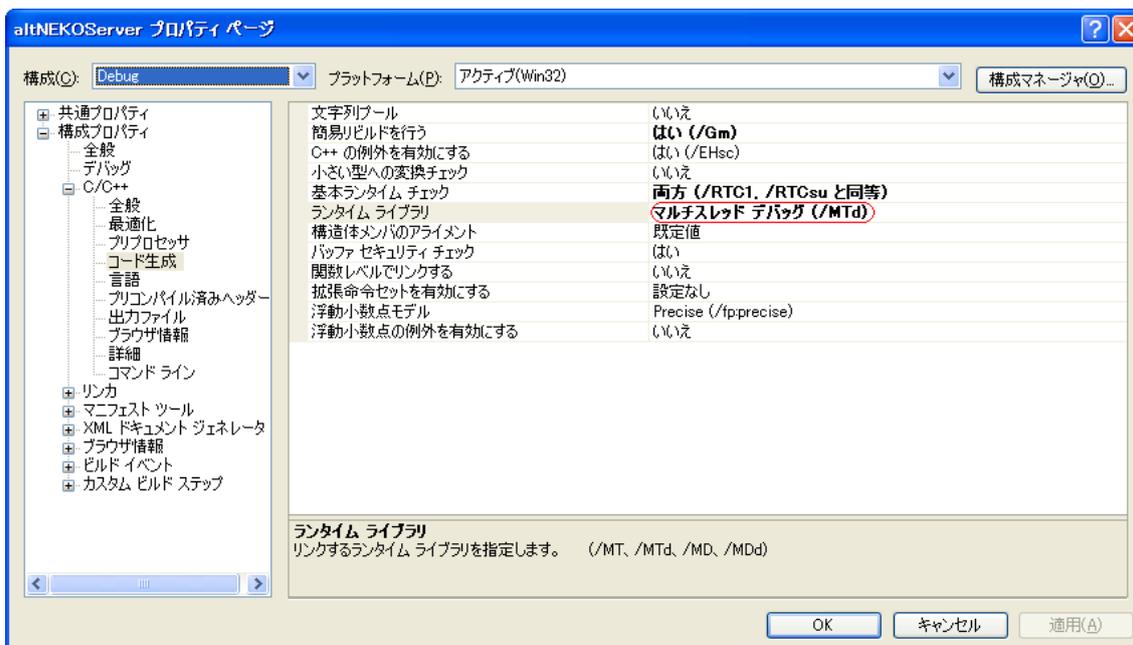
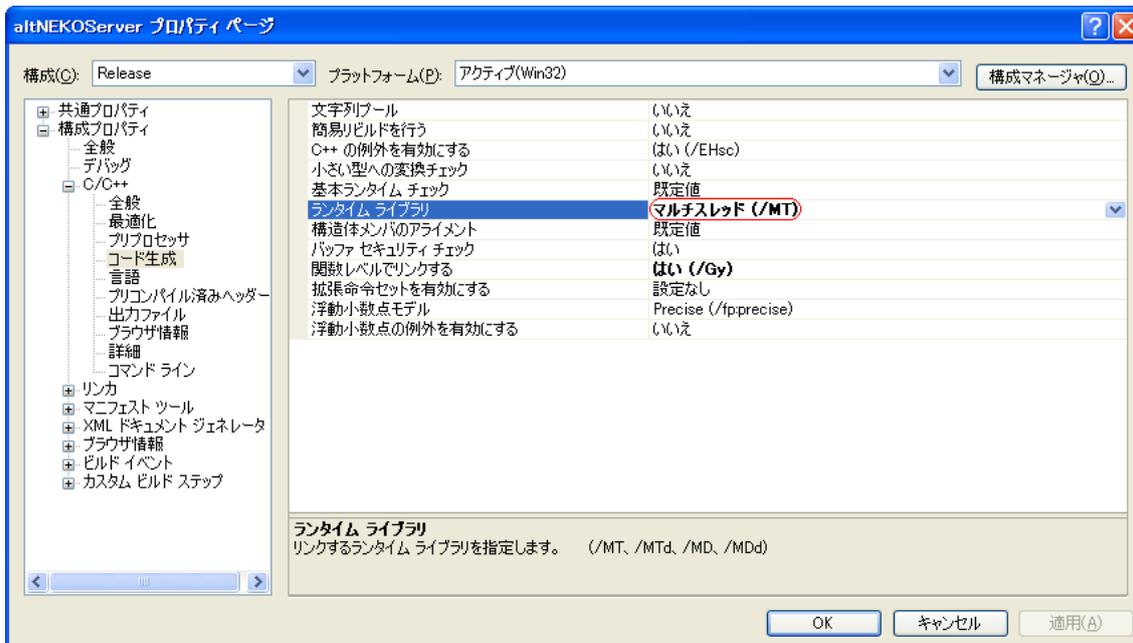
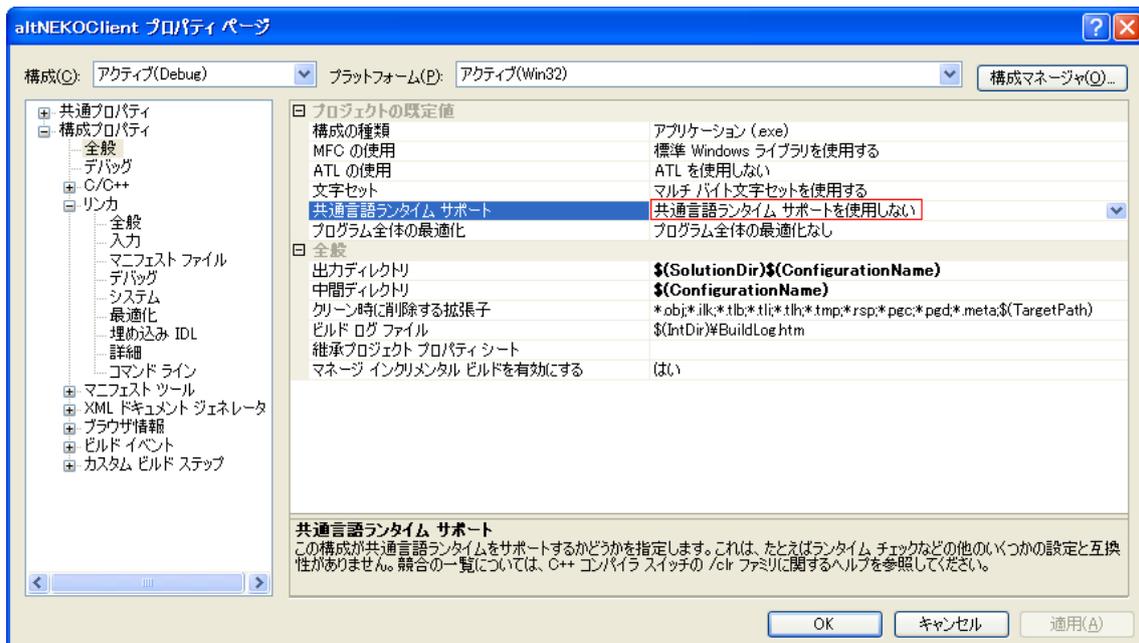


図 2 マルチスレッド(/MT)



「共通言語ランタイム サポート」は「共通言語ランタイム サポートを使用しない」に設定してください。

図 3 共通言語ランタイムサポート



## 2. プリプロセッサの定義

プリプロセッサの定義を説明します。

### 1. Static, DLL共通

Windows の場合は普通に「WIN32」を定義してください。

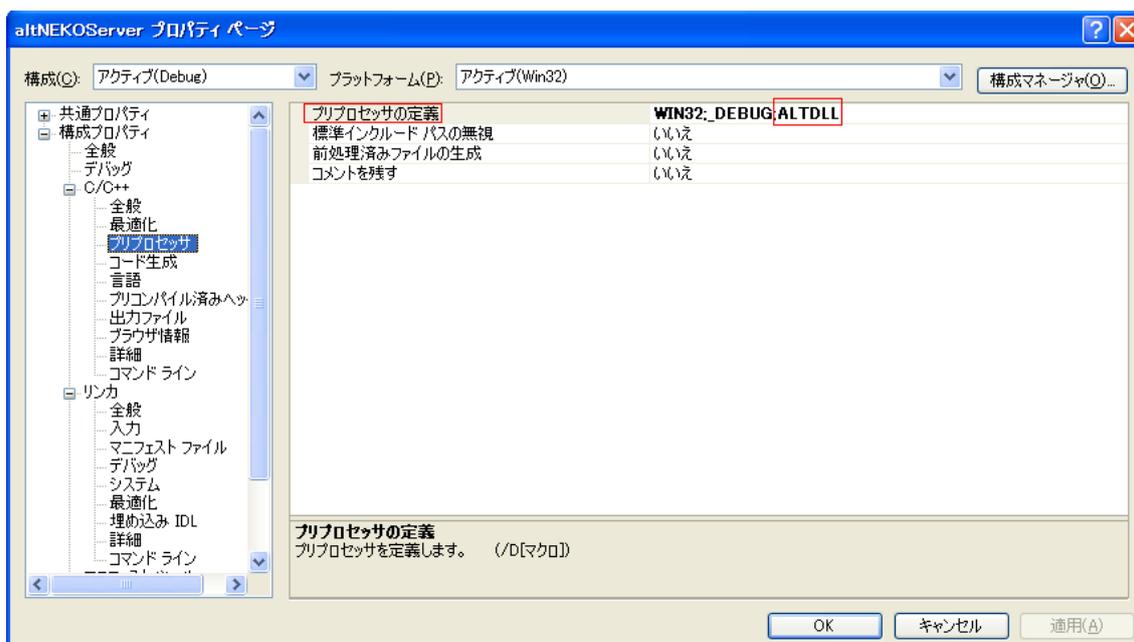
Linux の場合は「WIN32」は定義しないでください。

その他は自由に定義して頂いて結構です。

### 2. DLL

「libaltMT.dll」を使用する場合の設定方法です。

図 4 DLL の使い方

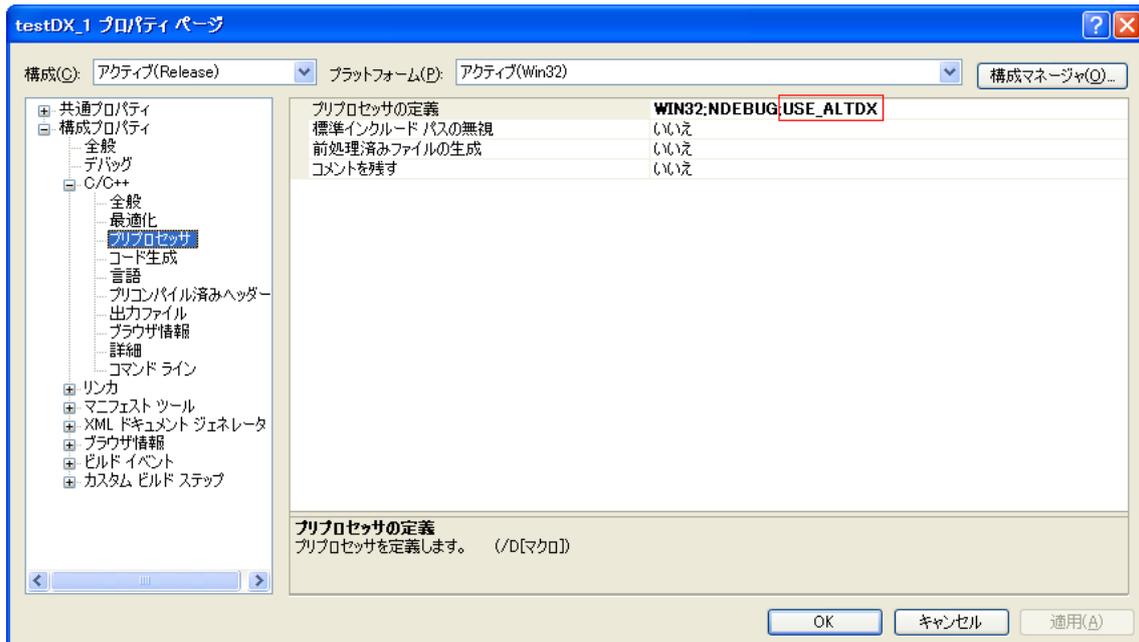


図のように「ALTDLL」を「プリプロセッサの定義」に追加してください。

### 3. DirectX

DirectX のコンポーネントを使用したい場合は「USE\_ALTDX」を「プリプロセッサの定義」に追加してください。

図 5 DirectX の設定



### 3. サポート

その他サポート連絡先は「[alt@ac.cyberhome.ne.jp](mailto:alt@ac.cyberhome.ne.jp)」です。

## 4. ライブラリの使い方

---

### 1. altBase

ほぼ全てのクラスはこのクラスを継承して構築されています。このクラスを継承した場合、「new」または「ALT\_NEW」でメモリを確保した場合、「altMemManager」クラスに登録されます。

このクラスを「public」で継承するようにしてください。

### 2. altMemManager

メモリ管理クラスです。「aiMemManager」からどこからでもアクセスすることができます。